

浜田地区 里親会だより

第1号

(H29.3 発行)

発行：島根県浜田地区里親会

〒697-0005

島根県浜田市上府町イ2591（浜田児童相談所内）

電話：0855（28）3560 FAX：0855（28）3565



一緒に里親しましょう

浜田地区里親会 会長 山本 和子

今日、この「浜田地区里親会だより」第1号を、浜田地区里親会会員はもとより、先輩会員、他地区里親会の皆様、そして、里親会活動をご支援いただいています関係機関の皆様、里親に関心を持っていただいている方々のお手元にお届けできるようになったことを、心より嬉しく思います。そして、地区里親会の事務局として、活動を支え、この里親会だよりの発行に向けてご努力いただきました浜田児童相談所職員の方々に深く感謝申し上げます。

私は、平成15年に里親登録し、19年に専門里親の登録、そして21年度からの里親制度の改正により、21年4月に養育里親、同9月に養子縁組里親の登録をしました。この間、一時保護委託として短期（1～7泊）の受け入れを5組8人、レスパイトを1人、長期（10年・6年）は現在養育中の2人（1人は養子縁組）の受け入れをしてきました。「私たちの家庭を必要としてくれる子がいるなら、役に立ちたい。一緒に幸せになりたい。」この気持ちが私の里親としてのスタートです。

里親になるきっかけや思いは様々ですが、その家庭に迎えられる子どもたちは、豊かな愛情をそそがれ、安心して健やかに育つ権利を持つ子たちです。養子縁組をした子ども、里子として養育している子ども、実子も皆同じです。

私たち里親会は、より良い養育をめざし、里親の研修、里親同士や親子の活動、交流など、子育ての喜びも悩みも共有し、支え合える存在でありたいと思います。「里親委託ガイドライン」に「里親委託優先の原則」が盛り込まれ、社会的養護が必要な子どもにとって、里親の果たす役割は一層重要となっています。そして、一人でも多くの子どもを迎え入れるために、新たな里親開拓が大きな課題であると考えています。

今年度新たに、里親制度の普及啓発活動に里親も積極的に関わることを決め、児童相談所の方と一緒に関係機関（浜田市子育て支援課、市町民生児童委員協議会、浜田市保育連盟等）の定例会等に出席し、社会的養護の現状と里親開拓の必要性を訴えさせていただきました。

ここ2年間に、新たに里親登録された方や、現在研修中という方が増えてきており、とても心強く思っています。養子縁組、短期養育、長期養育といった受け入れ形態や、子どもの年齢等に応じて、子どもたちのタイムリーな受託が広がるよう、「一緒に里親をしましょう」とこれからも声をかけ続けていきたいと思っています。

浜田地区里親会のご紹介

◆浜田地区里親会とは・・・

浜田市・江津市・大田市・川本町・邑南町・美郷町に住む里親で組織している会です。

里親の相互交流や普及啓発を目的として、年間を通して様々な活動をしています。

◆会員数

20世帯（平成29年2月末現在）

今年度に入ってから4世帯の会員が新たに仲間入りしました！

これからますます会員数が増え、浜田地区里親会が盛り上がっていくことを会員・事務局一同願っています。

平成28年度活動報告

5月 役員会・総会

中国地区里親大会(鳥取県米子市) P4

6月 里親サロン P4

8月 島根県里親大会(津和野町)

10月 聖隷寮との交流会

里親里子交流会 P5

里親月間

12月 里親サロン



※2月に予定していた「浜田・益田地区合同研修会」は、天候不良により中止としました。

ハナミズキ

コラム

浜田児童相談所 所長 山本 尚樹

所長室の窓からは、小さな中庭を挟んで一時保護所棟が見えます。その中庭に立つハナミズキは、年度が改まるたびに、うす紅色の花を枝いっぱいにつけて私たちの目を楽しませてくれます。

一青窈さんの歌で一世を風靡した花ですが、原産地が北米大陸で、日本から桜の花を送ったお返しにアメリカから送られた花だということも、これまで知らずにいました。

浜田児相では、毎年度70～80人くらいの子どもの保護を一時保護所でしています。その外にも、乳児院などの施設にお願いして保護をしている子どもたちがいます。

今年度の児童福祉法の改正では、社会的養護を進める際の国や県の責務として、まず第一に「家庭で健やかに育成されるよう保護者を支援すること」が明記され、もしその家庭での養育が適当でない場合には、「家庭養育と同様の養育環境」として里親・養子縁組などを優先して進めることとされました。併せて、広報啓発による里親開拓からマッチング、訪問支援、里子の自立支援までの一貫した里親支援が、今後の県（児相）の役割として位置付けられました。

保護所で過ごす子どもたちは、家庭を離れて心細い思いをしながら、家族のもとに帰りたいと望んでいます。そして、その多くはそれぞれの家族のもとに帰っていきますが、家庭などの事情により、どうしても家族と一緒に生活できない子どもがいます。施設にいる子どもたちも、家に帰りたいと思いながら暮らしています。

私たち児相職員は、常に子どもの「最善の利益」となる選択肢を考えていますが、それはいつも明快に選び取れるわけではなく、むしろ悩みを伴うことが多いのが現実です。私たちは、今後も里親や施設の皆さんの協力をいただきながら、子どもたちの安定した生活環境が確保できるよう努めていきたいと思えます。

ハナミズキの花言葉である「永続性」を、子どもたちの生活基盤とするために。



～活動ピックアップ～



第63回中国地区里親大会

(H28.5.28～29 鳥取県米子市)



中国5県の里親が集まる中国地区里親大会。

今年度の開催地はお隣鳥取県の米子市でした。

島根県の代表として、浜田地区の上代副会長が事例発表を行い、里親としての喜びや思うことを、経験談を交えてお話しされました。

他県の発表も、大学の里親サークルの活動についてなど個性に富むものでした。また、鳥取県知事の講演、分科会等も行われ、島根県の里親関係者にとって良い刺激を受ける2日間となりました。



里親サロン

(H28.6.29・H28.12.8)

昨年度から浜田地区で本格スタートした里親サロン。年に数回開催し、里親どうし悩みを相談したり、情報交換したりしています。

里子受託中の里親さんはもちろん、未委託の里親さんも、他の方の話を聞くことで養育に対するイメージを持ったり、交流の輪を広げることができるのではないかと思います。これからも継続的に開催する予定ですので、ぜひお気軽にご参加ください。

参加者の声



- ☺ 常に子ども達の成長を願い、見守り、頑張っている里親の輪に私も入れて、家庭での養育が
発展しているように思います。色んな意見交流
でサロンが盛り上がっていますね。

(森川里親より)

- ☺ 小さい悩みも大きい悩みも相談でき、安心
できる仲間がいることが支えになっていま
す。

(岡田里親より)

～活動ピックアップ～



調理活動。親子の連携プレー！



里親・里子交流会

(H28.10.8～9 邑南町)

里親家庭の大人、子どもがみんなで交流できる機会として毎年企画している交流会。今年度は浜田地区里親会初の試みとして、1泊2日の泊りがけでの交流会を決行しました！

場所は、江戸時代に多くの銀を産出したことで知られる「久喜銀山」の遺構の残る邑南町久喜地域。1日目は廃校となった小学校を改修した久喜林間学舎に宿泊し、自然や歴史の勉強、調理活動、ビンゴ大会などを楽しみました。2日目は久喜銀山の遺構をめぐるウォークラリーをし、間歩の中を探検するなど、めったにできない経験ができました。

里親希望者の方にも参加いただき、例年以上の盛り上がりを見せた交流会となりました☆



お天気にも恵まれ、楽しくウォークラリー



ここに入りました！中にはコウモリが…

😊 **みんなで交流することによって、日頃の不安や心配事を
お互い理解することができたように思います。(百田里親より)**

参加者の声

😊 **いつも両親だけが里親会に参加して、今一つ内容がわからなかったけど、
一泊二日の交流会を通して里親会の存在が少し理解できたように思う。
楽しい時間を過ごすことができました。今後も続けていってほしいです。
(子どもさんより)**

…普及啓発のとりくみ…

島根県では平成 27 年 3 月に「島根県社会的養護体制推進計画」を策定し、里親登録数の増加をめざし様々な取り組みを行っているところです。

浜田地区里親会でも「まずは里親という存在に気づいてもらうところから始めよう、里親自身が顔を見せ、地域にいることを知ってもらおう」という思いから、今年度は普及啓発活動により力を入れています。

まだまだ地域社会への浸透度が低い里親についてもっと知ってもらうには、こういった地道な活動を続けていくことが大切だと考えています。



市町民生児童委員
協議会の会合に参加
(役員・事務局)



地域の
イベントへの出展

出前講座いたします！

里親制度について知りたい、里親をしている人の話を聞いてみたい…などなど、お気軽にお問い合わせください。ちょっとした会合や勉強会など、様々な場に出向いてお話させていただきます。

連絡先：0855（28）3560（浜田地区里親会事務局）



お知らせ

第 64 回中国地区里親大会・第 61 回島根県里親大会

日時：平成 29 年 5 月 27 日(土)・28 日(日)

場所：出雲ロイヤルホテル

平成 29 年度の中国地区大会は島根県が担当となっており、出雲市で開催します。みなさまぜひご参加ください。

<編集後記>

「浜田地区里親会だより」記念すべき第 1 号発行の運びとなりました。これから、会員の皆様に役立つ情報をお届けするとともに、他地区里親会や関係機関の皆様にも会の活動を紹介していきたいと思います。浜田地区でも新しい里親が増えてきています。会の活動を通して里親同士の交流の輪を広げてもらったり、地域の方々に里親のことをもっと知ってもらったりできるよう、皆様と協力しながら頑張ります。(事務局)